

こんにちは きづき通信

です



第 8 号 2015年6月22日

—— 笑顔で希望と誇りを持って ——

代表 岩田文子

今年の梅雨入りが気になる季節となりましたが、皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る5月9日に第6回定期総会が無事終了いたしました。お忙しいところ、ご参加いただきました皆様には深く御礼申し上げます。総会後のアトラクションでは、ざまハーモニカドレミの会様の懐かしい演奏に合わせて皆様が楽しそうに歌われ、和やかに終了いたしました。

今年度は行事が盛りだくさんです。去年12月の通信でもお知らせしましたが、6月4日から平成27年度座間市相互提案型協働事業が始まっています。事業名は「市民こころのバリアフリー(心の健康問題普及啓発)及びハート・コミュニティ事業」です。平成16年3月厚生労働省から出された「こころのバリアフリー宣言」～精神疾患を正しく理解し、新しい一歩を踏み出すための指針～を基にしています。事業内容は3回の講座(市民こころのバリアフリー講座)とハート・コミュニティスペース開催(出会いと交流の場)、情報誌(こころのバリアフリー情報)の回覧です。先日、ざま広報等に掲載されましたが、前期木曜日開催(6月～8月)、後期土曜日開催(来年1月～3月)の2クール行います。利用者も講座補助者として参加して社会経験の積み重ねをしていきます。皆様のご参加をお待ちしています。お申込みは障害福祉課(046-252-7132)まで。

「バリアフリー宣言」は8つのキーワードからなっています。

1. 精神疾患を自分の問題として考えていますか。
2. 無理しないで、心も体も。
3. 気づいていますか、心の不調。
4. 知っていますか 精神疾患への正しい対応。
5. 自分で心のバリアを作らない。
6. 認め合おう、自分らしく生きている姿を。
7. 出会いは理解の第一歩。
8. 互いに支えあう社会作り。

2011年に地域医療の基本方針となる医療計画に盛り込むべき疾病として、4大疾病(がん、脳卒中、心臓病、糖尿病)に精神疾患が加わり5大疾病となっています。ぜひ、この機会に皆で心の健康問題について考えませんか。

高森信子先生の家族SST講座も、人気のある講座なので、3年目となる今年度も8月から始まります。今年度は家族SSTとして3回(8月、9月、11月)、当事者SSTとして1回(12月)の講座です。日頃、悩んでいたり、どうかなと思うことなど言葉に出すと、「そう、そう」と思い当たることが出てきます。高森流マジックのコミュニケーション術で、皆で元気になっていきませんか。

10月24日(土曜日)には、法人5周年と神奈川県指定NPO法人取得記念事業をハーモニー座間の小ホールで行います。座間総合高校軽音楽部さん、クラシックギターアンサンブルのピアチェーレさん、フルート奏者の堀田千秋さん、オーボエ奏者の原さん、ウクレレZAMAさん、ざまハーモニカドレミの会さん、そして「きづき」の皆で音楽祭を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

就労継続支援事業所「HOPE きづき」は、利用者それぞれが自分の個性を生かして活動できる場所です。自分の今を認め、自分を信じて、笑顔で希望と誇りを持ち、自分の目標が実現できるような事業所として、利用者、支援者共に楽しく活動を続けていきたいと考えております。今後とも、宜しく願い申し上げます。

みんな知りたい！？きづきのホント。



みんなどう働いているの??何を思っているの??を中野愛子(30代)が利用者を代表して聞いてみました!!

「きづきのことはやっぱりこの人!!きづき代表 岩田文子さんに聞いてみた!!」

中野：きづきについて色々お話を伺いたいと思います。まず最初にきづきを始めるきっかけは何だったのですか？

岩田：座間市で就労支援施設が少なかったので、利用者の行く場所が多い方がいいので、選べる場所が必要だと思って作りました。

中野：では、“きづき”の名前の由来は何でしょうか？

岩田：良いことも悪いことも“気づく”ことから始まる。自分の気持ちに“気づく”。良いことに“気づく”、楽しいことに“気づく”、辛いことに“気づく”。自分が理解するっていうことで“気づく”ことから全てが始まるような気がしました。

中野：そうですね!!“気づく”ことって大切ですね。最近とても感じます。

岩田：気づくことで次の行動に移れるでしょ?気づくことって誰でもできるから。

中野：楽しんで気づいていきます!!では次に、きづきはどんな場所でしょうか？

岩田：んーどんな場所?まずはやっぱり笑顔をたやしたくないと思うのね。辛くなりながらも笑えるような場所でいたいよね。

中野：最近私、笑顔増えてますよ(笑)

岩田：増えてますよ!!見てますよ!!前と違います(笑)

中野：良かった(笑)では次に、きづきで大切にしていることは何でしょうか？

岩田：大切にしていること。自分を大切にすること。自分自身を大切にすること。

中野：岩田さんは自分自身を大切にしていますか？

岩田：うん。ご褒美をあげています。それは、あのー、ちょっと、こうね…自分をリラックスできるようなご褒美で…お酒!!(笑)解放感があって、今日頑張ったねって自分を褒めます。

中野：飲み過ぎには気を付けてください(笑)では最後に、朝のミーティングの時に「笑顔で希望と誇りを持って」といつもおっしゃっていますが、それはどういった思いなのでしょう？

岩田：やっぱり笑顔でいることによって、また笑顔が来るような気がするの。笑顔で希望と誇り、自分を見失わないでこの世に生まれてきたって言う自信とか、今やってるんだという誇りを持つことが次につながっていくかなと思えるように言ってます。

中野：いつも聞いてると確認できますよね。これからも「笑顔で希望と誇りを持って」で行きたいと思います。ありがとうございました!!



「きづきで働くってどういうこと？ “働く” を初めて体験している伊藤紗生さん(10代)に聞いてみました！！」

中野：伊藤さんは高校卒業してからきづきに入所していますよね。学生の頃はアルバイトしてましたか？

伊藤：してませんでした。

中野：きづきで初めて働くということですね？

伊藤：はい、そうです。

中野：きづきに入ってどの位ですか？

伊藤：そんなに経ってないと思いますが、1、2か月位だと思います。

中野：そうですね。まだそのくらいしか経ってないですね。初めて働いてみてどうですか？

伊藤：働いたのは初めてですが、私は学生の頃、職場体験の実習に行っていて、色々な仕事の体験をしたことがありますが。体験してきた上で、きづきに来た時改めて思ったことがあります。それはやっぱり、仕事というのはとても大変だということです。

中野：どんな所が大変でしたか？

伊藤：やっぱり一番最初だと覚えることがたくさんあって、その一つ一つを覚えていくことがとても大変でした。

中野：では逆によかったことはありますか？

伊藤：きづきは私の家からすごく近くて、バスでここまですぐ来れるんですよ。そこがすごく良かったなというのが一つ。後はきづきの方々皆優しくて分からないことがあったりとかした時、すぐ色々教えて下さるので、それがすごい嬉しかったなと思います。

中野：いいですねー。じゃあ、周りの人は優しい人が多いってことですね？

伊藤：はい！！

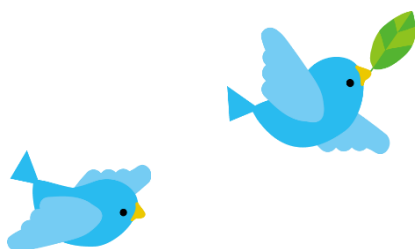
中野：良かった(笑)

伊藤：本当にすごく助かってますよ♪♪

中野：では、最後に一言お願いします！！

伊藤：やっぱり働くからには一生懸命頑張っていきたいかなと思っています！！

中野：ありがとうございました！！



「きづきに入所して5日目のHさん(40代)に聞いてみた！！きづきの印象とは！？」

中野：Hさん、きづきを知ったきっかけというのは？

H：ハローワークの紹介で…

中野：えー！？そうなんですか？？ハローワークで！？

H：そうですね。ハローワークで岩田所長(きづき代表)と仲の良い方がいらして、それで紹介して頂きました。

中野：では、就労支援施設を探しにハローワークに行っていたということですか？

H：そうですね、就労の事を考えていて、そしたらまずは第一ステップとしてきづきに行くということで。

中野：ということは就労支援施設は初めてですか？

H：初めてです。

中野：そうなんですね。きづきに初めて来た時の第一印象はどうでしたか？

H：あー、みなさん落ちついていてバタバタしないで落ちついていて作業されていていいなと思いましたけれども。

中野：それでは、きづきに入ろうと思ったきっかけは？？

H：まあ、スタッフの方とか中野さんをはじめ利用者の方から親切に教えて頂いてるので、それにまあ、利用者が少ないということもいいかなあと。

中野：そうなんですか？！少ないですか？

H：そうですね。他の所だと結構大きい所もあるらしくて。

中野：へえー、そうなんですね。それは知らなかったです。きづきは利用者が少ないけど、アットホームで皆仲良いんですよね♪ 話は変わりますが、以前はどういったお仕事をされてきましたか？

H：一応、事務という形なんですけれども。

中野：事務なんですね。今きづきでは厨房で作業されていますけど、お仕事としては初めてですか？

H：そうですね。初めてですね。

中野：まだ慣れてないかもしれませんが、実際やってみてどうですか？

H：そうですね、まだまだ慣れてないんでみなさんにご迷惑をかけるかなとは思ってるんですけど、岩田所長(きづき代表)から「これから男も料理しなきゃだめよ」なんて言われまして。

中野：(笑)

H：それでやらせて頂いています。

中野：では最後になりますが、これからきづきで挑戦してみたいこととか、やってみたいことはありますか？

H：そうですね。大体のことをマスターしたいなと思いますね。皆さん、その一、例えば「マーラーカオ作って下さい」と言われてもパッパパッパ作られてて、オムライスにしてもナポリタンにしても作られてる。まあ、指示を受けたらできるようになりたいなというのはありますね。

中野：いいですねー。Hさんなら大丈夫です(笑) 最初にお会いした時、できるオーラが(笑)

H：そうですね(笑)

中野：(笑) ありがとうございました！！



「“お笑いは人を元気にさせる” Sさん（30代）の考えるお笑いについて聞いてみた！」

中野：Sさんは今お笑い芸人を目指していると聞きましたが、どういうきっかけだったんですか？

S：あの一、今までの人生で2回くらい引きこもってた時期があって、その時友達いなくてすごい辛かったけど、お笑い番組とか見て暇を潰してたんですよ。その時に「あ、お笑いで人を元気にさせるんだな」と思って。それで大学の勉強とか分からなくて、バイトしててもいつも怒られてばかりで。でもお笑いの学校では別に適当にやってんのにつっこ面白いかと言われてて、お笑いにむいてるのかもしれないと思い始めたんですよ。

中野：自信につながるが見つかったんだね。そのお笑い学校にはどのくらい通ってたの？

S：1年間の期間のうち半分しか通ってなくて、芸人として雇ってもらえなかったんだけど、教えてくれた先生のうち半分は「君は面白い」って言ってくれて、残りの半分の先生には駄目だって言われて。最初は否定してる先生を信じてたの、俺はむいてないんだなーって。半分の人にしか支持されないんだと思ってたけど、バイトですごい怒られてるうちに半分から認められているんだったら十分だと思うようになって、もう一回お笑いやろうと思った。

中野：認めてくれる人がいると気づいた？

S：認めてくれる人がいるわけだから、お笑いむいてるんじゃないかと。それで一人でネタを作り始めた。

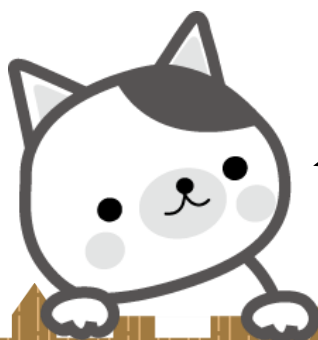
中野：で、今はきづきに通いながら諦めずにお笑い芸人を目指してるんだ？

S：お笑いが駄目だったら普通に就職しようと思ってる。けど、お笑いの方に就けたらいいなと思ってます。

中野：じゃあ最後に一言お願いします。

S：お笑いで結局、売れる人は運がいいと思うんですよ。努力も大事だけど結局資質があるかどうかというのが大事なんだけど、売れたらそこで資質があるなって、途中で辞めたら才能無かったって言われちゃうと思うんです。もし僕が途中で辞めたらみんなから才能無かったって言われるだろうし、それが嫌だったら売れるまで5年でも10年でも続けていつか売れるしかないっていう。

中野：Sさんが一生懸命自分探ししているのが分かりました。大変だと思いますがお笑い芸人目指して頑張ってください！！応援してます！！ありがとうございました！！



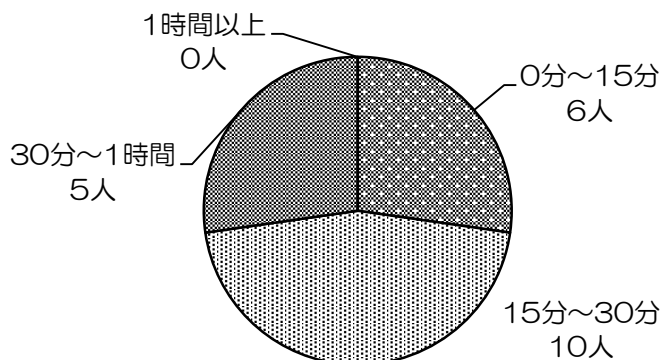
こんにちは、中野です。（インタビュアー）
“みんなの声”を聞く利用者代表！！
厨房担当して3年近く。笑顔で前向きに！！を
心がけています。



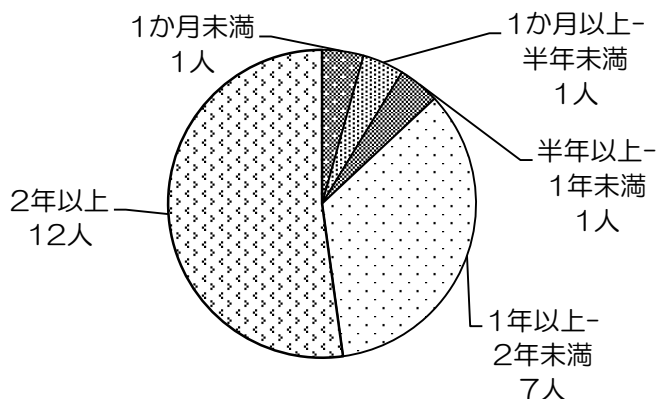
きづきのみんなが選んだテーマ別ランキング

きづきをどんな方が利用しているのかアンケートをして22人の方に答えてもらいました。

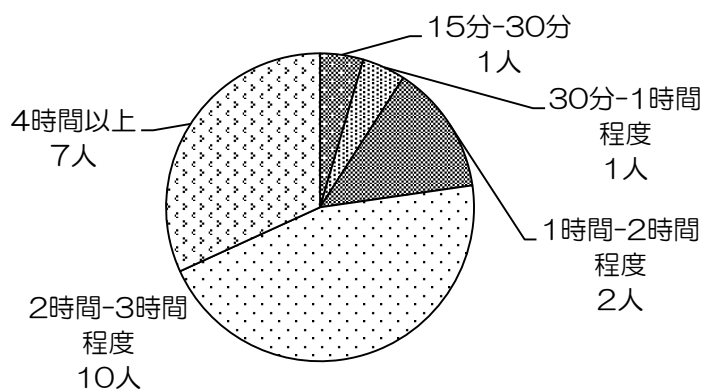
Q1.きづきから自宅まで何分？



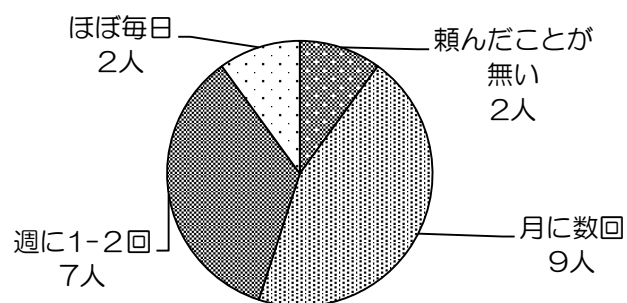
Q2.きづきに入所してどれくらい？



Q3.勤務時間はどれくらい？



Q4.きづきのメニューをどれくらいの頻度で頼む？



Q5.きづきのメニューで好きなものは？

[ごはん]

- 1位 薬膳ごはん
カレー
- 2位 オムライス
- 3位 ナポリタン
ミートソーススパゲッティ

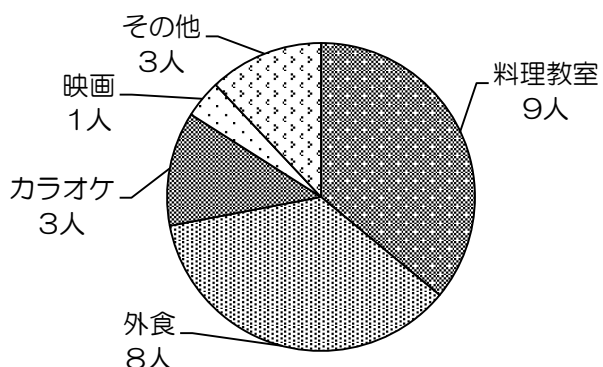
[飲み物]

- 1位 コーヒー
- 2位 カフェオレ
- 3位 紅茶
- 4位 オレンジジュース

[デザート]

- 1位 ガトーショコラ
- 2位 マーラーカオ
- 3位 アイス
- 4位 メロンパンラスク

Q6.きづきでやってみたいイベントは？



その他の意見

- ・バス旅行
- ・練功
- ・ボウリング



♪新しいこと始めます♪

○平成27年度座間市相互提案型協働事業『市民こころのバリアフリー（心の健康問題普及啓発）及びハートコミュニティ事業』

この度座間市と共に平成27年度座間市相互提案型協働事業「市民こころのバリアフリー（心の健康問題普及啓発）及びハートコミュニティ事業」を行います。

この協働事業で「心の健康問題の正しい理解のための普及啓発検討報告会」が提唱する「基本的考え方」が広まり、座間市のスローガンでもある「支えあい思いやりに満ちたやすらぎのまち」を目指していきたいと考えています。

前期（木曜開催）・後期（土曜開催）の2クール行います。

第1回目は
たくさんの方に参加いただき大好評でした！



○「ほほえみショップ」でお弁当の販売

今年度から座間市小規模作業所連絡協議会に入り、6月1日から「ほほえみショップ」（座間市役所地下1階）に商品を委託販売できるようになりました。午前11時45分には、商品を陳列できるように配達します。

商品は曜日によって変わります。6月現在、下記の通りです。

〈配達スケジュール〉

月曜日		火曜日		水曜日		金曜日	
薬膳	3個	カレー	3個	薬膳	3個	薬膳	3個
カレー	3個	ナポリタン スパゲッティ	3個	カレー	3個	カレー	3個
ミート スパゲッティ	3個	ミート スパゲッティ	3個	ミート スパゲッティ	3個	ナポリタン スパゲッティ	3個



ほほえみショップでは
どれも売り切れちゃうほど
大人気です！！

★☆☆活動報告☆☆★



防災カフェ in きづき

2015年1月22日(木)

「生き残らなければ何も始まらない」をスローガンに、ざま災害ボランティアネットワークのメンバーの方をお招きして、当カフェにて防災カフェを開きました。当日は近隣の方々にもお集まり頂き、減災のためには日頃の備えと、助け合う事が大切だということを再認識しました。また、今回は特に非常時のトイレについて教わり参考になりました。

2015年3月5日(木)

毎恒例のジョブガイダンスを今年も開催しました。5回目となる今回は、参加者のみなさんが書いた履歴書を、厚木ハローワークの専門援助部門統括職業指導官 田代様、精神障害者雇用トータルサポーター 前山様の両名に個別に添削していただきました。各人の事情に合わせた実践的な履歴書のアドバイスを受け、みなさん思いを新たにされていました。



第5回ジョブガイダンス



かにかお来所

2015年3月16日(月)

神奈川県民局くらし県民部NPO協働推進課の“社会貢献発信ねこ”『かにかお』が、きづきを来所し「カフェ部門」「PC部門」「エコボール部門」を見学していきました。

来所時の模様は『かにかさんぽ』のページでご覧になれます。

<https://www.kanyao-official.jp/kanyaball/>

2015年4月2日(木)

三島方面に『いちご狩り』と『三嶋大社のお花見』を楽しむことができました。当日は前日までの雨も止み、お天気に恵まれて行楽日和となりました。手が真っ赤になるまで、たくさんいちご狩りをしたり、三嶋大社では満開の200本の桜を満喫しながら、屋台の食べ物に舌鼓を打ったりと、みなさん思い思いに楽しんでいました。



春のバス旅行 in 三島

発行 特定非営利活動法人 きづき
就労継続支援B型事業所「HOPE」きづき

〒252-0021

神奈川県座間市緑ヶ丘 5-6-28

TEL : 046-244-6915

FAX : 046-244-6916

e-mail : hopekiduki@lagoon.ocn.ne.jp

HP : <http://hopekizuki.sakura.ne.jp>

編集者：大久保、中野、柳沢

編集後記

- こだわったこと
インタビューの方がその人の気持ちをちゃんと聞くことができ貴重な体験をさせて頂きました。
- 楽しかったこと
メンバー3人で話し合いながら「きづき通信」を楽しみながら作り上げていったこと。スタッフさんからも「楽しそうに作ってるね」と言われるくらいです。
- ちなみに…
きづきの近くの都南自動車教習所でお弁当販売をする予定です。これからも成長していく“きづき”をよろしくお願いたします。